

「授業備品」 No.298 08. 1. 18 子どもたちに授業や評価を委ねる（高知県三原村授業づくり大会）

R 7. 12. 13 に、高知県三原小・中学校での高知授業づくり研究会があった。それをまとめてみた。主体的な学びは同じだが、「個人（個別）学習・協力して学ぶ」ことをねらいにした。



1 学校って何？ 「分からぬことをなまに聞く場所」

2 学校の意義を子ども間で決める

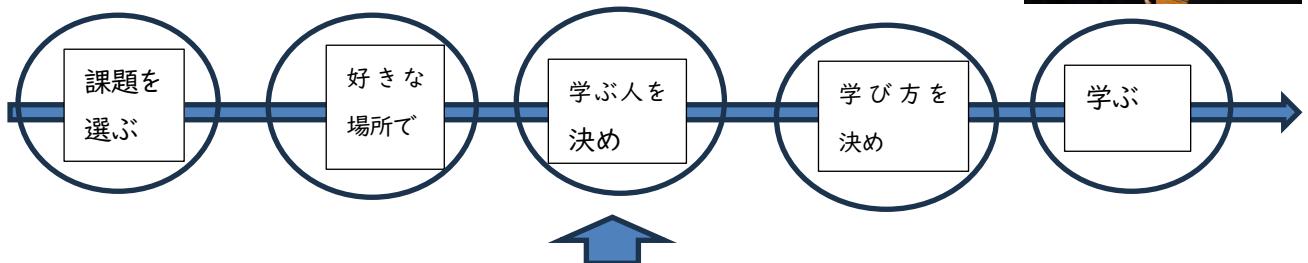
「子どもたちが先生を頼らず主体的に学び、安心して何でも取り組める学校」



3 主体性を改めて問う

(1)子どもの学び方の基準を変える（教師は、子どもを信じ、学びを任せる）

子どもが



### これまでの授業（学校）

教師が教材研究をし、学習課題を決め、しゃべり、まとめる。教師主体の授業。

(2)子どもたちに学びを委ねる授業（三原大会の授業）

①授業で目指したこと

- ア 授業を進めるのは教師ではなく自分たちであるという意識
- イ 自分なりに問い合わせ立て、課題をつくり学ぶ
- ウ 学習方法やペースを自分で選び決め学ぶ（三原小の社会）
- エ 同一学年から異学年と学ぶ（三原中の全校数学）
- オ 授業評価の数値化



自分の課題選択  
(三原小)

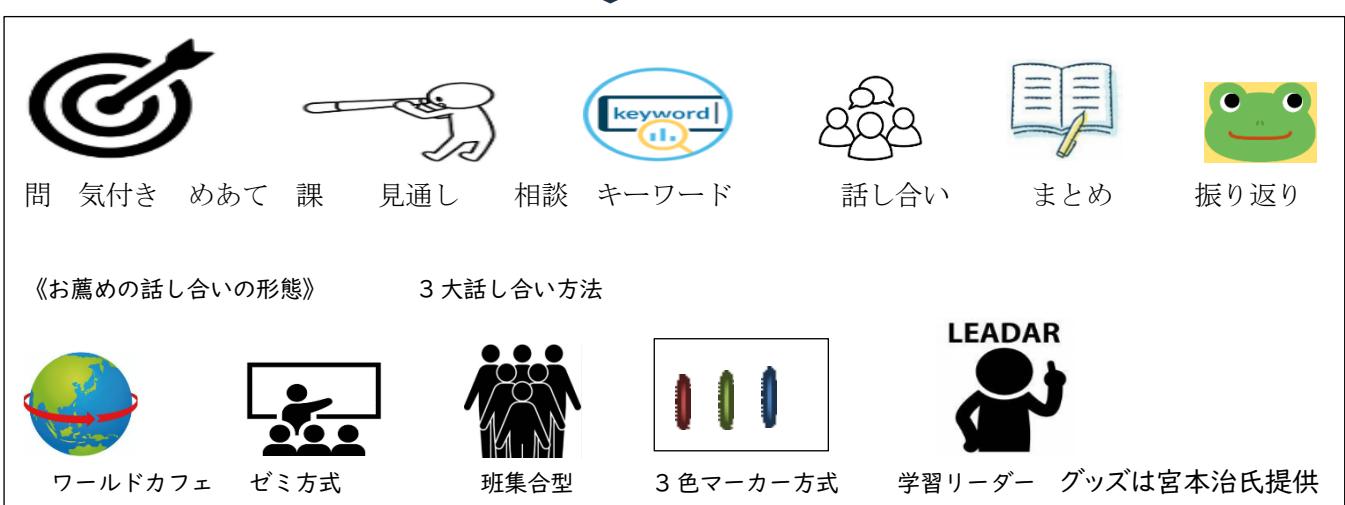
異学年で学ぶ  
(三原中)

4 学習過程（学習スタンダード）をピクトグラムで分かりやすくする

(1)授業を変える方法

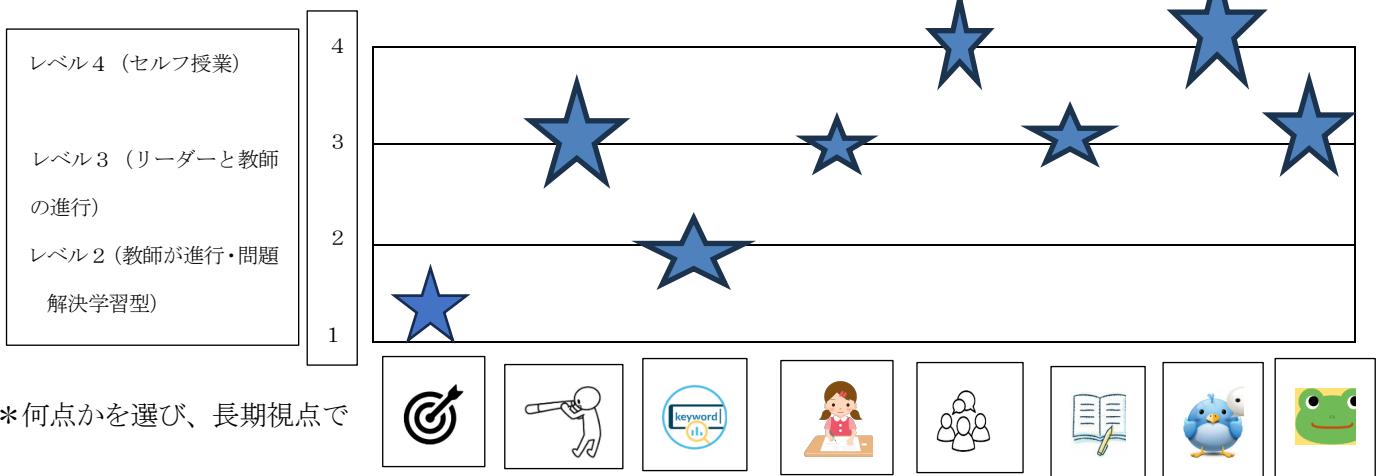
①問題解決学習過程を文字から「簡略と図式化」へ

課題→見通し→相談→自力→探る（班考察等）→話し合う→まとめ→振り返り



## 5 学習活動評価の可視化

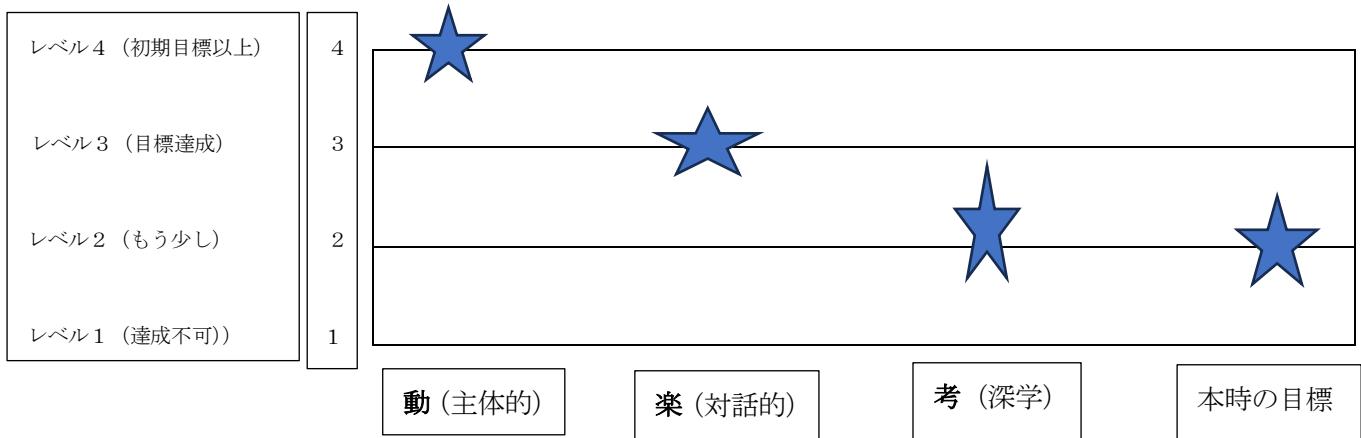
### (1) 問題解決学習過程の評価（三原大会で実践）



### (2) 資質・能力の3つの柱に対応した学習評価



### (3) 学習指導要領3本柱の評価



### (4) 個別最適・協働的な学びにつなげる授業評価へ

自分で「目標（めあて）を決め、好きな場所で好きな仲間と好きな学習方法」で学ぶことを評価する。

#### 留意点

- ①まずは、問題解決的な学習過程の評価を行う。（教師主体の授業（一斉授業）を減らす）
- ②上記4視点の可視化評価の充実のために項目を混ぜ評価を行う。
- ③この見える評価の前に、個人内評価をする。（授業備品294号、みがき度チェック）
- ④子どもの声を第一に考え、子どもと教師が一緒になり評価を行う。（教師だけの評価は止めを）
- ⑤教師間の評価は、付箋紙やタブレットを使い短時間で行う。



本時の学習活動案（レッスン・プラン）令和7年12月13日(土) 第4校時 6学年M（三原小）

【目標】産業や経済の発展を調べ、社会の様子や暮らしの変化を知る【知・技】

【キーワード】「テレビ」「洗濯機」「冷蔵庫」「電気製品」「三種の神器」「高度成長」「公害」

授業前のリーダー	・黒板に授業グッズを貼る ・黒板に「今日の課題」「キーワード」「まとめの書き出しを書く」 ・ワークシートやホワイトボードを配布する。
----------	--

流れ アイコン	学習活動	☆学習リーダー○支援
導入	・前時の振り返りを（近く）で伝え合う。（1分）	☆振り返りの指示 
めあて 見通し keyword 自力 話し合い まとめ 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された資料・本文・資料集から、<b>気付いたことをペアで話し合い、その場で話す。</b></li> <li>今日の課題を話し合い、2つ程度にしばり、各自で選択をする。</li> <li>今日の授業の流れをピクトグラムで確認する。</li> <li>今日のキーワードをペアで話し合い、全体で4つ程度に絞る。</li> </ul> <p>◇<b>ちょこっと相談</b>（2～3人）をして、おおよその「解」を確認</p> <p>◇それぞれの学び方で課題解決をする。個。（5分）</p> <p>◇同じめあてのグループで集まり考えを共有する。（3分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゼミナール（1～3つの班が集合）で、ホワイトボードを使って考察を行う。（10分）</li> </ul> <p>◇まとめた意見を全体で共有する。（5分）</p> <p>◇ペアや班で疑問や意見を再度出し合い考え方を確認する。（3分）</p> <p>◇まとめをする。（5分）</p> <p>◇今日の課題に対する考え方を振り返り、ワークシートに記入する。（3分）</p>	☆「課題」「流れ」「キーワード」の確認を進行する。 ☆「学習の流れ」を指示する。 必要に応じて教師に相談する。 (*7分以内) ☆自力で解決できない仲間のため、まず「ちょこっと相談」の時間を設ける。 ○解決の状態を確認し、個別指導を行う（机間指導） ☆いくつかの考えから共通することを見つけるよう指示をする。 ○必要に応じて、教師が修正する。
授業後のリーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>板書を撮影し、消す。学習グッズや資料を片付ける。</li> <li>次回のリーダーと教師の打ち合わせ日を決める。（資料・課題について話し合う。）</li> </ul>	○提出物の確認

《お薦めの話し合いの形態》



ワールドカフェ



ゼミ方式



班集合型



3色マーカー

《学習リーダー》



# 令和7年度 全学年数学科学習案 12月13日(土) 【授業者 S】(三原中)

単元名 1年:比例と反比例 2年:1次関数 3年:2乗に比例する関数

本時の目標(付けるべき力) 身のまわりの問題を、表、式、グラフを用いて調べ、考察することができる。

授業前のリーダー	・黒板に授業グッズを貼る ・黒板に「今日の課題」「キーワード」「まとめの書き出し」を書く ・ワークシートやホワイトボードを配布する。
----------	--

流れ アイコン	学習活動	生徒全員が活躍する姿
導入	・前時の振り返りを(近く)で伝え合う。(1分) 	☆振り返りの指示をする。
見通し めあて keyword	<p>課題:次の関係は、関数の関係か。また、関数なら、どんな関係か</p> <p>1 提示された問題を読み確認 2 これまでのまとめをペアで振り返り、<b>気付いたこと</b>を確認する 3 めあてを把握する</p> <p>めあて:<math>x</math>と<math>y</math>は関数の関係か、また、どんな関係であるか、式、表、グラフの特徴から考え方を説明しよう。</p> <p>・今日の授業の流れをピクトグラムで確認する。 ・今日のキーワードをペアで話し合う。</p>	① ペアで自分の学年の既習事項を振り返る。 ② 全体で確認する。 ③ めあてを全体で読む。
話し合い まとめ 振り返り	<p>4 ちょっと相談(2~3人)をして、おおよその「解」を確認 5 ペア→カフェ(各班2分)→ペア *ペアでの時間設定は、生徒が行う</p> <p>6 学び合い</p> <p>◇まとめた意見を全体で共有する。(5分) ◇ペアや班で疑問や意見を再度出し合い確認する。(3分)</p>       <p>まとめ:身近な事象には、多くの関係になるものがあり、それらの関係がどんな関係を式、グラフの特徴を用いて考えることが出来る。 振り返り:ノートに振り返りを書く。</p>	④ ペアでホワイトボード ⑤ カフェ ⑥ アドバイスから成果に近づける ⑦ ホワイトボードを出し、共通点を相違点を出し合う。 ⑧ 仲間分けをする ○必要に応じて、教師が修正する。
授業後のリーダー	・板書を撮影し、消す。学習グッズや資料を片付ける。 ・次回のリーダーと教師の打ち合わせ(資料・課題について)	○提出物の確認

《お薦めの話し合いの形態》



《学習リーダー》



グッズは宮本治氏提供